

作成日： 2003年11月21日

改訂日(V.7)：2013年2月4日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名： サンダーボルト007

会社名： 日本農薬株式会社  
 住 所： 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル  
 担当部門： 環境安全部  
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451  
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号：(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)  
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

用途及び使用上の制限：農業用除草剤、農薬登録以外の使用は不可  
 MSDS番号： 511-16(M03-52)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	生殖毒性	区分1B
	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 生殖能または胎児への影響の恐れ  
水生生物に毒性  
長期的影響により水生生物に毒性

##### 注意書き

#### 【予防策】

- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 環境への放出を避けること。

#### 【対応】

- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断を受けること。

#### 【保管】

- 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

その他の危険有害性：特に無し。

## 3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

- (1) イソプロピルアンモニウム=N-(ホスホノメチル)グリシナート  
(一般名：グリホサートイソプロピルアミン塩)
- (2) エチル=2-クロロ-5-(4-クロロ-5-ジフルオロメトキシ-1-メチルピラゾール-3-イル)-4-フルオロフェノキシアセタート (一般名：ピラフルフェンエチル)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
グリホサートイソプロピルアミン塩	30.0%	1071-83-6	—	—
ピラフルフェンエチル	0.16%	129630-19-9	8-(2)-1755	—
〈その他〉				
ホリ(オキエチレン)アルキルエーテル	5.6%	68131-40-8	—	(7)-97
			化管法第一種指定化学物質	
エチレングリコール	0.75%	107-21-1	(2)-230	(2)-230
			安衛法通知対象物	
界面活性剤、水等	残	—	—	—

## 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診療を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診療を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。

飲み込んだ場合：口の中をすすぎ、カップ1～2杯の水を飲ませる。直ちに医師の診療を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、水

## 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、液滴やガスを吸い込まないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、液滴を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

**8. 暴露防止及び保護措置**

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護マスク、保護メガネ、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋

**9. 物理的及び化学的性質**

外観： 類白色水和性粘稠懸濁液体  
比重： 1.13±0.02/25℃  
pH： 4.0~6.5(1%水懸濁液)  
引火点： 引火性無し。  
自然発火性： 常温の空気と接触しても自然発火しない。

**10. 安定性及び反応性**

安定性： 通常の条件下では安定。  
危険な反応： 知られていない。  
有害な分解物： 知られていない。

**11. 有害性情報**

急性経口毒性： ラット LD50 値 (mg/kg) ♂,♀ >5000  
急性経皮毒性： ラット LD50 値 (mg/kg) ♂,♀ >2000 (死亡例及び中毒症状無し)  
皮膚刺激性： ウサギ 軽度。刺激性反応は 72 時間以内に消失。  
眼刺激性： ウサギ 軽度。刺激性反応は 48 時間以内に消失。  
皮膚感作性： モルモット 陰性  
生殖毒性： 区分 1 B に分類されるエチレングリコールと他の成分をカットオフ値の 0.1%以上含有することから区分 1 B とした。毒性未知成分量は 68.1%。

**12. 環境影響情報**

水生環境有害性(急性)： 区分 2

コイ	LC50 値/96hr	11.0mg/L	
オオミジンコ	EC50 値/48hr	2.21mg/L	
緑藻*	EbC50 値/0-72hr	0.721mg/L	* <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>
	ErC50 値/24-72hr	1.28mg/L	

水生環境有害性(慢性)： 区分 2

急性区分が 2 で、急速分解性及び生物蓄積性が不明であることから慢性区分 2 とした。

**13. 廃棄上の注意**

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
空容器： 内容物を使いきった後、3 回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

**14. 輸送上の注意**

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

**15. 適用法令**

農薬取締法

労働安全衛生法

通知対象物(法57条の2) : エチレングリコール(政令番号75)

化学物質排出把握管理促進法

指定化学物質	2009.9.30 まで(改正前)	2009.10.1 から(改正後)
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C12～15)	第1種・307	第1種・407

(2008年の政令改正による改正後の政令番号を併記しました。2010年3月31日までのPRTR集計は改正前の区分・政令番号、2010年4月1日からのPRTR集計は、改正後の区分・政令番号にもとづいてください。)

**16. その他の情報**

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。またヒトに対する危険、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。